

# 平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立南多摩高等学校

全日制課程

## 1 計画の概要

- ① 「開かれた学校づくり」推進のため、「人間力の南多摩」を掲げる本校の経営方針を積極的に発信する機会とするとともに、地域住民・都民の本校に対する理解と信頼を高める努力をする。
- ② 「豊かな人間性・社会性の育成」のため、本校生徒による学校説明、小・中学生への学習アドバイス、中学校の部活動コーチなど、小・中学生との人間的交流をすすめる、社会の中で自分が認められ、手応えを得る機会をつくる。
- ③ 「八王子柔道練習会」として、毎週土曜日、本校で練習会をし、幼稚園児や小・中学生に多くの体験をしてもらうとともに、本校の生徒も礼節、社会性や思いやりの心を身に付ける機会とする。



## 2 実施内容

- ① 「開かれた学校づくり」の面では、夢街道駅伝など、八王子市との連携による行事の実施、地域祭りにも本校を開放し、多くの地域住民、小・中学生、高校生、大学生が本校を訪れた。また、学校見学会、説明会などを数多く実施し、多くの中学生と保護者が本校を訪れた。
- ② 「豊かな人間性・社会性の育成」の面では陸上競技部、ハンドボール部などが中学校との交流を行っている。八王子市、府中市、国立市、日野市、昭島市、青梅市の中学校と合同練習や練習試合を実施するとともに、夏季休業中に、生徒個人単位の中学校の部活動で指導・交流を行っている。
- ③ 「八王子柔道練習会」は定着し、毎週土曜日に、指導者、児童・生徒、その保護者が一体となって活動をしている。



## 3 成果と課題等

### 【成果】

- ① 小・中学生、高校生、指導者、保護者が、本校の教育活動状況を見、生徒や教員の活動がよく分かり、本校の学校経営などの理解が深まった。同様に、教職員の地域への関心も一層高まってきた。
- ② 合同練習や練習試合などを通じて人間的交流を図り、人間を育てるという方向性が定着しつつある。技術面を超えて、あいさつ・マナーや勉強法、信頼関係を基本としたきずなづくりなどにも発展してきており、この機会を通じて本校、ひいては都立高校への好意的な評価をいただきつつある。
- ③ 八王子柔道練習会では、子供たちは柔道そのものだけでなく、本校の教育活動等に親しみを感じている。本校生徒も柔道練習を訪れる子供たちから、武道の礼節など、高校生の見習うべき習慣を吸収している。

### 【課題】

- ① セキュリティ対策など、施設面での充実策が課題である。
- ② 部活動を通じて築かれる信頼関係を基盤にして、「人間力の南多摩」というコピーを地域に定着させること。ひいては中等教育学校へ改編する本校の教育活動のPRにもつなげることが必要である。
- ③ 八王子市柔道会のコーチの時間的な制約と、本校のほかの教育活動を調節する必要がある。本校の柔道部顧問の負担軽減をして、参加できる本校柔道部員数を増やす必要がある。